令和８年度（2026 年度）社会教育人材ネットワークを活用した地域づくり活性化事業
社会教育士プロジェクトチームによる
「北海道つながる学びプロジェクト」実施要項

１　趣旨

社会教育士を中心としたプロジェクトチームが、地域課題の解決に向けたプログラムを企画・実践し、「まちデザインミーティング」を通じて多様な主体との対話と協働を促進することで、学びを生かした地域づくりを推進するプロジェクトです。さらに、成果発表や表彰を通じて実践事例を共有し、全国各地へ学びとつながりの輪を広げます。

２　主催

北海道教育委員会

３　対象

社会教育士（修得見込みを含む）を中心とした３～４名のプロジェクトチーム

※チームには、行政職員、社会教育関係者、学校関係者、企業、NPO、地域住民、学生など、多様な立場の参加を推奨します。

※社会教育士（修得見込みを含む）は１名以上メンバーに加えてください。

４　募集チーム数

10 チーム程度（応募多数の場合は道内のプロジェクトチームを優先とします）

５　実施期間

令和８年（2026 年）９月～令和９年（2027 年）２月

６　プロジェクトの流れ

（1）社会教育士プロジェクトチームの結成（任意のチームを募集）

社会教育士を中心に、地域課題の解決に向けて取り組むチームを募集します。

（2）地域課題の分析・プログラムの企画（チームごとに各地で実施）

地域の現状や課題を把握し、対話や協働を促進するプログラムを企画します。

（3）まちデザインミーティングの実施（チームごとに各地で実施）

地域住民や関係団体等が参加する「まちデザインミーティング」を開催し、地域課題の共有や解決に向けたアイデア創出、協働のきっかけづくりを行います。

（4）成果発表・表彰（全チーム集合）

各チームが実践成果を発表し、優れた取組を表彰します。また、成果を全道へ発信し、地域づくりの実践事例として共有します。

7　申込方法

所定の申込様式に必要事項を記入の上、期日までにメールで提出してください。

※申込みの際には、社会教育士の称号を確認できる書類（修了証等）をメールに添付してください。

＜申込先＞北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課人材育成開発G

＜メール＞shougai.12@pref.hokkaido.lg.jp

＜期　日＞令和８年（2026 年）９月１日（火）17:00

8　支援内容

（1）プログラム企画に当たって、当課職員による助言や伴走支援

（2）まちデザインミーティングの運営補助

（3）成果発表会・表彰の運営

（4）成果発表の発信

（5）その他、必要な事項

9　スケジュール（予定）

９月１日（火）　社会教育士プロジェクトチーム募集締切

９月 10 日（木）　キックオフミーティング（全員チーム参加）

９～10 月　地域課題の分析・プログラムの企画（各チームで打合せ）

11～12 月　まちデザインミーティング実施（各チームで実施）

１月 16 日（土）　成果発表会・表彰（全チーム参加）

２月上旬　報告書作成

10　問合せ

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課人材育成開発G　Tel：011-204-5782

社会教育士プロジェクトチーム募集

北海道つながる学びプロジェクト

地域の課題を、「学び」と「対話」で解決する。



社会教育士を中心としたプロジェクトチームが、地域課題の解決に向けた実践を行い、「まちデザインミーティング」を通じて対話と協働による地域づくりを推進します。
さらに、その成果を全国に発信し、学びとつながりの輪を広げます。

プロジェクトの流れ

1 チーム結成

社会教育士を中心に、地域課題の解決に向けて取り組むチームを募集します。



2 地域課題の分析・プログラムの企画

地域の現状や課題を把握し、対話や協働を促進するプログラムを企画します。



3 まちデザインミーティングの実施

地域住民や関係団体等が参加するミーティングを開催し、課題の共有・解決のアイディア創出・協働のきっかけづくりを行います。



4 成果発表・表彰

各チームが実践成果を発表し、優れた取組を表彰します。成果を全国へ発信し、地域づくりの実践事例として共有します。



スケジュール（予定）

- **9/1（火）** プロジェクトチーム募集締切
- **9/10（木）** キックオフミーティング（全チーム参加）
- **9~10月** 地域課題の分析・プログラムの企画（各チームで打合せ）
- **11~12月** まちデザインミーティング実施（各チームで実施）
- **1/16（土）** 成果発表会・表彰（全チーム参加）
- **2月上旬** 報告書作成

※日程は予定です。変更となる場合があります。

対象

社会教育士（修得見込みを含む）を中心としたプロジェクトチーム

※チームには、行政職員、社会教育関係者、学校関係者、企業、NPO、地域住民、学生など、多様な立場の参加を奨励します。

※社会教育士（修得見込みを含む）は１名以上メンバーに加えてください。

募集チーム数

10チーム程度

※応募多数の場合は道内のプロジェクトチームを優先させていただきます。

実施期間

令和８年（2026年）９月～令和９年（2027年）２月

主催

北海道教育委員会

北海道教育委員会がサポートします！

- プログラム企画に当たって、当課職員による助言や伴走支援
- まちデザインミーティングの運営補助
- 成果発表会・表彰の運営
- 成果発表の発信
- その他、必要な事項



申込方法

所定の申込様式に必要事項を記入の上、９/１（火）までにメールで提出してください。

※申込みの際には、社会教育士の称号を確認できる書類をメールに添付してください

＜申込先＞shougai.12@pref.hokkaido.lg.jp

詳しくはWEBで！

実施要項・申込様式は北海道立生涯学習推進センターのホームページに掲載しています。

北海道　つながる学びプロジェクト

お問い合わせ
北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課 人材育成開発G
Tel：011-204-5782



資料３

まちデザインミーティング実施のポイント

「まちデザインミーティング」は、**地域課題を共有し、多様な主体が対話を通じて解決策を考え、実践につなげる場**であることが伝わる内容が望ましいです。

社会教育士の専門性（ファシリテート、コミュニケーション、プレゼンテーション）を生かしながら、企画立案・実施に向けて次のポイントを意識して取り組みましょう。

項目	観点	ポイント
① 地域課題の把握・分析	地域の現状やニーズを適切に把握し、課題を明確に設定できているか	・地域の実情や住民の声を踏まえた課題設定となっているか。 ・課題の背景や原因が整理されているか。 ・地域にとって必要性の高いテーマとなっているか。
② 対話・協働のプロセス	多様な主体との対話を通じて、協働による取組を進めているか	・地域住民や関係団体など多様な主体が参画しているか。 ・参加者同士が意見を出し合い、相互理解が深まる場となったか。 ・新たな連携やネットワークの構築につながったか。
③ 社会教育士によるコーディネート	学びを生かし、人や地域資源をつなぐ社会教育士としての役割を発揮できたか	・多様な主体をつなぐ調整や働きかけが行われたか。 ・地域資源や人材を効果的に活用しているか。 ・参加者の主体的な学びや活動を引き出しているか。
④ 地域への成果・波及性	取組による成果や地域への影響、今後の広がりが見られるか	・地域課題の解決や改善につながる成果が見られたか。 ・地域住民の意識や行動の変化が生まれたか。 ・他地域でも参考となる実践となっているか。
⑤ 継続性・発展性	プロジェクト終了後も継続・発展していく可能性があるか	・今後も継続できる体制や役割分担ができているか。 ・次の取組や新たな展開が見込まれるか。 ・地域に定着し、将来的な発展が期待できるか。

※上記の項目は、成果報告会において、審査の観点となります。

まちデザインミーティングの具体例

	＜例１＞ **社会教育人材がつながる** **「あなたもわたしも社会教育人材」**	＜例２＞ **多世代で考える** **「地域の居場所づくり」**	＜例３＞ **誰もが暮らしやすい地域を考える** **「共生のまちづくりミーティング」**
テーマ	地域で活躍する社会教育人材同士がつながり、新たな活動を生み出そう	子どもから高齢者まで集える地域の居場所を考えよう	外国人や高齢者、障がいのある方も安心して暮らせる地域づくりを考えよう
内容	**〇社会教育を認識していない地域活動の実践者と社会教育士がつながる** 〇地域で活動する社会教育人材の取組や課題を共有 〇互いの専門性や経験を生かせる連携アイデアを検討 〇継続的なネットワークづくりを推進	**〇社会教育士が仲介となって、子どもと高齢者をつなぐ** 〇地域資源や困りごとを整理 〇新たな交流イベントや居場所づくりのアイデアを検討 〇実現に向けた役割分担や今後のアクションの話し合い	**〇当事者や支援団体が喫緊の課題を提示し、その解決に向けたファシリテーションを社会教育士が担う** 〇困りごとや地域でできる支援をグループで検討 〇多文化共生や地域交流のアイデアを創出 〇地域で取り組める具体的な活動につなげる
対象	社会教育士、社会教育主事、地域学校協働活動推進員、NPO、自治体職員、地域活動の実践者など	地域住民、町内会、学校、学校運営協議会、社会福祉協議会、学生など	外国人住民、福祉団体、学校、行政、地域住民など

そのほか、

☑ **人口減少・担い手不足**を考える「未来の地域づくりミーティング」

☑ **空き家・空き店舗の活用**を考える「地域資源活用ミーティング」

☑ **防災・地域コミュニティ**を考える「みんなでつくる防災まちづくりミーティング」

☑ **若者の地域定着**を考える「若者×地域デザインミーティング」

☑ **地域の学びを生かす**「学びがつながるまちづくりミーティング」

など、**地域住民が社会教育士と一緒に地域課題解決に向けた取組が「まちデザインミーティング」**ですので、

テーマは自由に設定してください。

令和８年度（2026 年度）

北海道つながる学びプロジェクト　プロジェクトチーム名簿

エントリーNo.	プロジェクトチーム名	代表者
1	地域をつなぐ社会教育チーム「学び人（マナビスト）」	大川 和徳
2	ゆる～く、しっかり釧路	伊藤　公浩
3	チーム未完成	内田 雄一
4	『？』探求所	平井　梓
5	とかち共育の輪	尾崎 真衣
6	いしかり学びの輪ひろげ隊	新屋　彩
7	澄川烏學舎	川崎　淳一